

学校番号	8	学校名	静岡県立沼津特別支援学校伊豆田方分校	校長名	青木 暁乃
------	---	-----	--------------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

共に育てる自立と輝き

～子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

自ら考え、自ら学ぼうとする生徒の育成をめざし、生徒の勤労観を育むキャリア教育を推進する。また、高等学校や地域と連携・協働しながら共生・共育を推進すると共に、互いを尊重し、安全に安心して過ごすことができる学校をつくる。

目指す学校像として、「安全」「専門」「連携」「チーム」の4つの柱を掲げ、自立と輝く力を育てる学校を目指す。

(2) 目標具現化の柱

- ア 命を守る教育により、生徒が安全に安心して学習できる学校 (安全)
- イ 生徒の能力を最大限伸ばし、個に応じた指導及び支援ができる学校 (専門)
- ウ 保護者、地域、関係諸機関等との連携を深め、共生社会を目指す学校 (連携)
- エ 教職員のチーム意識を大切にし、効率よく迅速に業務を遂行できる学校 (チーム)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
安 全	生徒の命と人権を守る取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主的な行動につなげる防災教育の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅時、通学途上も含め、発災時に自分で判断して行動したいと答える生徒 80%以上 ・在宅時、通学途上も含め、発災時の避難行動等について、家族内で確認したり、防災意識をもつようになった保護者 80%以上 ・在宅時、通学途上も含め、発災時の具体的な行動力に結びつける防災教育を行なっている教員 80%以上 	研修・防災課 生徒指導・防犯課
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意思表出や行動力につなげる自尊感情を高めるための生徒指導や人権教育の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の良さが分かり、自分の意見や考えをもって行動する力がついてきた。」と答える生徒と保護者 80%以上 ・生徒への働きかけの前に、「あなたは どう思う？」を意識してやりとりをしている教員 80%以上 	生徒指導・防犯課 教務・自立活動課
		<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育全体計画に沿った道徳教育の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な教科「道徳」での学びを生活の中で生かしていこうとする生徒 80%以上 ・特別な教科「道徳」での学習評価を生徒理解に生かしている教員 80%以上 	教務・自立活動課 道徳推進委員会 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が心や体の健康等の自己管理能力の向上を図る指導への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健指導」や「性の指導」等で学んだことを、生活の中で生かしていこうと考える生徒 80%以上 ・生活の中で生かす力につなげる視点から、「保健指導」や「性の指導」等を実践した教員 80%以上 	保健体育課 生徒指導課

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
専 門	入学から卒業後までのつながりを意識した指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 学びの価値や成長を実感できる授業研究や公開研究会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 学び、考えることが楽しいと答える生徒 80%以上 • 生徒の考える姿を引き出す授業力を高めたと感じる教員 80%以上 	研修・防災課 研修推進委員会
		<ul style="list-style-type: none"> • 3年間を見通した計画の中で、学習評価を生かした作業学習と職業科の実践 	<ul style="list-style-type: none"> • 作業学習や職業等、学校で身に付けた力を職場実習で発揮していると答える生徒 80%以上 • 「就労しながら豊かに生活する将来の姿」を見据えた目標を設定し、働きかけや学びのフィードバックについての支援を意識している教員 80%以上 	進路指導・地域連携課 作業班長会 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> • 授業で活用できるアプリ等の紹介とICTを活用した授業の実践とその発信 	<ul style="list-style-type: none"> • 自らの情報活用能力が向上したと答える生徒及び教員 80%以上 • 教育実践全般の成果について、HP等での発信、各教員年1回以上 	教務・自立活動課 情報推進委員会
連 携	地域や関係機関とのつながりを大切にしたい指導と支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 田農との共同授業、交流授業等の計画的な実践とその成果の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> • 田方農業高校との共同学習、行事に魅力を感じる生徒 80%以上。 • 将来につながるコミュニケーション力の育成の場として、田農生との共生・共育の良さを生かす働きかけをしている教員 80%以上 	教務・自立活動課 共生・共育委員会
		<ul style="list-style-type: none"> • 的確な進路等の個別の支援のために必要な、ケース会議、移行支援会議の実施。そのための関係機関、地域人材の活用と工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> • 必要性のある生徒に対するケース会議等の実施等 100% • 校内（保護者を含む）外の人材活用や連携によって得られた情報が、教育活動に生かされていると感じる教員 80%以上 	進路・地域連携課 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> • 伊豆の国特別支援学校と連携した地域支援についての体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> • 伊豆の国特別支援学校との情報連絡会 年2回 • 地区（小・中・高）の特別支援教育の体制づくりに向けた発信 年5回 	進路・地域連携課
		<ul style="list-style-type: none"> • 福祉教育を窓口とした函南町との連携の教化 	<ul style="list-style-type: none"> • 函南町等、地域との共同活動や情報発信（函南町役場やゲートウェイとの連携）年12回以上 	進路・地域連携課 作業班長会
チ ーム	働きがいのある学校にするための業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> • 必要な情報共有や効率化につながる業務改善の仕組みを」「働きがい」につなげる取組 	<ul style="list-style-type: none"> • 掲示板の活用等で必要な情報提供を図ったり、共有のために自ら情報収集を図ったりしている教員 80%以上 • 教材等データや業務に関わるノウハウを共有することで、業務の改善につなげたと感じる教員 80%以上 	働きがい委員会 教務・自立活動課
		<ul style="list-style-type: none"> • 学校経営計画に基づいた予算計画や予算執行を本校事務等と適切に情報共有しながら進める 	<ul style="list-style-type: none"> • 本校事務との連携が図れていると感じる教員 80% • 本校事務からの直接情報提供の場年6回以上 	教務・自立活動課 事務担当